

公益社団法人神奈川県看護協会活動指針

- 1 人々が安心できる保健・医療・福祉サービスの発展に貢献します。
- 2 県民が安心して生活できるよう人々の健康を支えるため、看護職の質の向上に努めます。
- 3 一人ひとりの看護職が、安心して安全な看護を提供できる場づくりを支援します。

2025 年度事業計画

- I 保健・医療・福祉の知識の普及啓発に関する事業（定款第4条第1項第1号 公益目的事業）
- II 在宅等での療養者のための訪問看護、居宅介護支援事業（定款第4条第1項第2号 公益目的事業）
- III 看護における医療安全及び災害時等の救護に関する事業（定款第4条第1項第3号 公益目的事業）
- IV 看護師等の資質向上を図るための研修等に関する事業（定款第4条第1項第4号 公益目的事業）
- V 看護師等の就業促進及び看護に関する進路相談事業（定款第4条第1項第5号 公益目的事業）
- VI 会員に対する支援事業（定款第4条第2項第1号 収益事業）
- VII 法人の管理に関する事業（定款第4条第2項第2号 法人管理事業）

I 保健・医療・福祉の知識の普及啓発に関する事業（予算額 12,327 千円）

事業内容	予算額
1 県民に対する看護の普及活動	10,222 千円
1) 看護週間行事	
(1) 看護フェスティバルの開催	2,105 千円
2025 年 5 月 11 日(日)（神奈川県総合医療会館）	
参加予定数 延 1,000 名	
・看護師等になるための進路相談	
・看護の広報活動	
(2) 「一日看護体験」事業	
実施期間 2025 年 5 月 1 日～8 月 31 日	
参加予定数 3,000 名 県内 100 か所の病院等施設	
2) 県民に対する広報活動の強化	
(1) 広報出版委員会の開催	2,105 千円
(2) 「KANAGAWA 看護だより」の発行	
年 4 回 計 104,000 部	
配布先：病院等施設、市町、図書館等、ホームページ掲載	
(3) ホームページの充実・利用の促進	
目標アクセス数 年 400,000 件	
(4) LINE、Instagram の充実・利用の促進	
2 県民のための健康相談及び知識の普及	2,105 千円
1) 健康相談事業の充実	
(1) 「まちの保健室」の開催 年 6 回	2,105 千円
(2) 支部の「まちの保健室」活動支援	
・参加支部 川崎、横浜北、横浜西、横須賀、相模原、湘南、県央支部	

事業内容	予算額
(3) 地域健康相談事業 県看護協会訪問看護ステーション（4事業所） 年1回×4事業所 3) 健康・医療・安全に関する知識の普及・啓発 (1) 県民及び看護職を対象とした禁煙推進事業 受動喫煙防止活動を推進する会議への参加 4) 県内の医療職に対しての緊急情報の周知活動 トピックス研修 年3回 随時ホームページ等掲載	

II 在宅等での療養者のための訪問看護、居宅介護支援事業（予算額 402,863 千円）

事業内容	予算額
1 訪問看護及び居宅介護支援事業の充実 1) 訪問看護ステーション事業の充実 (1) 乳幼児から高齢者まで、病気や障がいのある方が、住み慣れた地域や家庭で、その人らしく療養生活を送れるように看護師が生活の場へ訪問し、看護ケアを提供し、自立への援助を促し療養生活を支援する。また、医師や関係機関と連携をとり、様々な在宅ケアサービスを提案する。 (2) 24時間対応体制の整備、夜間・休日の相談及び訪問、状態の変化や病状の観察・処置、主治医との連携等を図る。 (3) がん末期や終末期などでも、自宅で過ごせるよう適切な判断に基づいたケアとアドバイスの実施及び家族等への支援を行う。 (4) 事業所 (年間目標延件数) かがやき訪問看護ステーション(藤沢市) 訪問件数 11,400 件 あかしあ訪問看護ステーション(茅ヶ崎市) 訪問件数 9,600 件 おおいそ訪問看護ステーション(大磯町) 訪問件数 7,400 件 洋 光 台訪問看護ステーション(横浜市) 訪問件数 9,200 件 合計 37,600 件 (5) 会議等 ・訪問看護ステーション所長会議 年12回 ・事務職員会議 年1回 ・業務改善ワーキング 年4回 2) 居宅介護支援事業 (1) 加齢や疾病、障害等による生活障害をもった要介護状態等の人々が、家族の支えや社会的サービスの利用により、自立した質の高い生活を送ることができるよう、ケアプランの作成や相談等を通して支援する。 (2) 事業所 かがやき訪問看護ステーション(藤沢市) ケアプラン作成数 1,100 件 おおいそ訪問看護ステーション(大磯町) ケアプラン作成数 600 件 合計 1,700 件 3) 訪問看護・居宅介護支援事業の質評価 (1) 利用者満足度調査 年1回	402,863 千円

事業内容	予算額
(2) 介護サービス情報公表にかかる事業所自己評価 年1回 (3) 病院と看護協会訪問看護ステーションとの訪問看護出向事業 4) 地域への活動 (1) 退院調整のための病院訪問(地域連携室など) 各訪問看護ステーション 月1回/ 4か所 計年48回 (2) 地域ケア会議等への参画等による訪問看護の普及、啓発活動 各訪問看護ステーション 月1回/ 4か所 計年48回 広報活動(広報紙、地域住民に向けた健康講座、SNS等の利用) (3) 訪問看護ステーション教育支援事業(県補助) 同行訪問研修、新任または経験の少ない訪問看護師への研修、教育担当者への研修 5) 看護職員等の資質の向上 (1) 訪問看護ステーション内研修 訪問看護に関する情報共有、勉強会等 各訪問看護ステーション 月2～4回 (2) 事例検討会 困難ケース等についての検討会 各訪問看護ステーション 年3回 (3) 研修への参加 ステーション職員 年2回/名 6) 看護職・看護学生・福祉職に対する教育支援 研修生受け入れ：看護大学生、専門学校生、県看護協会研修生等 140名/4か所 7) 関係機関との連携 各関係団体との連携と会議への出席 各訪問看護ステーション 年24回	

Ⅲ 看護における医療安全及び災害時等の救護に関する事業（予算額 7,687 千円）

事業内容	予算額
1 看護における医療安全体制強化のための支援 1) 医療安全対策委員会の開催 年9回（臨時含む） 医療安全情報の発行 2) 医療安全管理者養成研修修了者への活動支援 医療安全管理者情報交換と啓発活動 ネットワーク交流会 年11回 半日 交流会情報交換ツールの管理 3) 関連団体との連携推進 (1) 日本看護協会との連携 会議 年1回 (2) 神奈川県医療事故調査等支援団体連絡協議会 会議 年1回 (3) 医療事故調査委員会への看護師派遣調整 (4) 神奈川県6団体による医療安全推進対策実行委員会会議への参加 年3回 (5) 医療安全推進協議会セミナー開催 年1回 (6) 神奈川県医療事故調査制度研修会 基礎編 年1回 応用編（調査報告書作成編） 年1回 4) 医療安全に関する相談・情報提供 (1) 医療事故に関係した看護職への支援、相談対応	4,083 千円

事業内容	予算額
(2) 医療事故防止対策に関する広報 (3) 「医療安全情報」ホームページ掲載 (4) 医療安全推進週間の広報(11月25日中心) 5) 医療安全相談事業 電話・面会等の相談対応 6) 医療安全教育に関わる啓蒙事業 (1) 医療安全管理者養成研修(eラーニング+集合研修 1日間) 年2回 定員各55名 2 災害時の看護支援活動の強化と普及 1) 関連団体との連携推進 (1) 日本看護協会との連携推進 ・日本看護協会災害担当学会議 年1回 (2) 県・市合同総合防災訓練(ビックレスキュー)への参加及び開催支部との連携 ・展示・体験コーナーへの参加 ・合同総合防災訓練会議 年3回 ・事前現地会議(会場視察) (3) 行政との連携 ①神奈川県 ・神奈川県防災行政通信網(閉域スマホ)通信訓練 年6回 - WEB会議参加訓練 年1~2回 ・神奈川県地域防災計画の検討など ②横浜市 ・横浜市通信訓練 年6回 ・防災会議・災害医療連絡会議への参加 年1回 ・横浜市防災マニュアルの検討など 2) 災害支援ナース養成研修(eラーニング+集合研修 2日間) 年2回 定員各40名 3) 災害への備え・広報活動 (1) 災害救護対策委員会の開催 年10回(臨時含む) (2) 災害対策マニュアルの整備 神奈川県看護協会災害関連規定集 災害時職員行動マニュアル (3) 県民、医療従事者を対象とした災害時の知識の普及・啓発 ・作成リーフレットの動画化 ・県・市合同防災訓練で減災お役立ち情報の実演、動画チラシの配布 ・災害看護出前講座(依頼時) ・減災準備 災害発生時の看護師役割の検討 ・災害看護研修 年2回 定員60名 (4) 災害に関する情報のホームページへの掲載 (5) 災害関連規定集の改訂	3,110 千円
3 感染対策における知識の普及と予防活動への支援 1) 神奈川県内医療機関・施設の感染担当者や行政担当者と連携 ・行政との打合せ開催 年2回	494 千円

事業内容	予算額
2) 小規模施設の感染予防対策の充実 ・ 認定看護師による出張相談 年 20 回 ・ 動画作成とホームページ掲載による感染対策活動支援 ・ 手洗いチェッカー貸出し 60 か所 3) 感染症対策に関する電話相談窓口 4) 県民対象とした感染防止についての知識の普及と啓発 ・ わかりやすい感染対策について、ホームページ掲載	

IV 看護師等の資質向上を図るための研修等に関する事業（予算額 175,716 千円）

事業内容	予算額
1 看護職の資質向上の支援 1) 生涯学習の推進 (1) 教育研修 27 回 延 32 日 延定員 2,016 名 (2) 小規模病院に勤務する看護職員研修【看護管理者】 7 回 7 日 定員 20 名 (3) NPO 法人日本 ACLS 協会 共催研修 8 回 7 日 定員 161 名 (4) 准看護師のためのスキルアップ研修 1 回 1 日 定員 20 名 (5) 研修運営事業 ・ 「研修一覧」タブロイド判作成 年 1 回 43,000 部 ・ 次年度研修説明会 2 月開催 (6) オープンセミナー 病院等施設などで企画した研修情報の一覧を作成し、県下の看護職に公開 2) 新人看護職研修の充実 - がんばれ！新人ナース!! 研修 0.5 日 定員 600 名程度 3) 看護研究の充実 (1) 神奈川看護学会の開催 2025 年 11 月 29 日(土)開催 会場 神奈川県総合医療会館 (2) 神奈川看護学会運営委員会の開催 (3) 看護研究推進支援 研究指導講師紹介 5 グループ 4) 教育企画運営に向けての支援 (1) 教育研修委員会の開催	154,701 千円
2 看護職の活動の充実 1) 職能における研修等 2) 支部における研修等 3) 看護職員の就業環境改善の促進 (1) 業務委員会の開催 (2) 社会経済福祉委員会の開催	9,932 千円
3 地域看護の推進と拡充 1) 地域看護の質向上に関する研修 (1) 地域看護における看護職員の育成	11,083 千円

事業内容	予算額
・訪問看護入門研修会 年2回 2日間 定員 各30名 ・訪問看護師養成講習会(eラーニング+集合研修10日間+実習2日間) 年1回 定員 30名 ・精神科訪問看護基本療養費算定要件研修会 年1回 3日間 定員 76名 ・地域連携のための相互研修会 年1回 3日間 定員 50名 ・訪問看護現任者研修会 年10回 各半日間 定員 各76名	

V 看護師等の就業促進及び看護に関する進路相談事業（予算額 72,016 千円）

事業内容	予算額
1 看護職員確保定着対策の推進 1) 看護師等の無料職業紹介事業（本所、他1支所） (1) 求人・求職者の登録・相談、紹介、情報提供 ・求人・求職就業等の目標相談件数 年10,000件 ・目標就職数 年650件 (2) 求人・求職者のマッチングのためのLINEの推進による情報配信 (3) 看護職の人材活用システム（NuPS）の導入準備 (4) プラチナナース活用の検討 2) 届出制度の促進及び支援事業 (1) 届出制度の普及 (2) 届出者の情報管理 (3) 届出者の相談及び就業支援 ・届出数 9,000人 /通算(約1,000人増) ・就職・研修等の情報提供：1回/月以上 3) ハローワーク・ナースセンター連携事業 (1) 労働局・公共職業安定所との連携 ・求人票・求職者の情報交換 ・求職者の情報共有と就業支援 ・ハローワーク 8か所への巡回相談とセミナー等の連携 ・会議の運営及び情報共有 4) 広報活動及び情報提供事業 (1) リーフレット「ナースセンターご案内」等の作成・配布 未就業看護職・施設への配布 3,000部 (2) 看護学生・教員への周知 ・出張卒業講話 (3) 医療・看護・介護に関するビデオ・DVDの貸出(館内・館外) 利用件数 年10件 (4) ナースセンターホームページによる広報の強化 求人・求職数、届出数、研修、ハローワーク連携 5) 関係機関との連携・会議 (1) 中央、都道府県ナースセンターとの連携 通年/随時 (2) 社会福祉協議会 福祉人材センター等との連携	72,016 千円

事業内容	予算額
福祉施設等就職相談会等への協力、後援、派遣 ・福祉施設等就職相談会への派遣 ・登録求職者への研修案内配布協力 (3) 会議 ・看護職員確保対策連絡協議会およびナースセンター事業運営委員会 1回/年 10月 ・ナースセンター連絡会議 1回/年 4月 ・ナースセンター・ハローワーク連携事業連絡調整会議 1回/年 7月 ・都道府県ナースセンター事業担当者会議 随時/通年 6) 看護職員の定着を図るための相談事業 就業者の就業相談の実施 相談内容の分類と分析 7) 研修支援事業 (1) 就職定着自己学習会（就業者・未就業者対象） 6回/年 受講者 60名程度(各回定員 10名) (2) 復職支援研修（未就業者対象） 4回/年 受講者 200名程度(各回定員 50名) (3) 横浜市看護職員復職後フォローアップ研修 3回/年 30名程度(各回定員 10名) 2 看護に関する普及啓発事業の充実 1) 進路相談事業 (1) 進路相談の実施 通年 相談件数 100件/年 2) 看護週間行事への協働等 (1) 看護フェスティバルでの進路及び就業相談 30件 (2) 「一日看護体験」実施施設との調整 案内期間 5月1日～8月31日 ・一日看護体験者 (170施設 参加者 7,000名) 3) 看護の仕事の普及啓発 若年層を対象とした看護の仕事の普及啓発 ・出張職業講話 ・リーフレット「やさしさがキャリアになる」の配布 7,000部 3 看護補助者事業 1) 看護補助者の無料職業紹介 (1) 2024年7月1日労働局より承認 2) 求職者に対する研修の提供 (1) 看護補助者オンデマンド研修 通年 (2) 看護補助者お仕事説明会 2回/年 受講者 40名 (各回定員 20名) 4 その他 1) 相談員の質の向上 (1) 相談員研修の受講 各自 1回/年	

VI 会員に対する支援事業（予算額 73,840 千円）

事 業 内 容	予算額
1 会員に対する情報提供等 1) 職能委員会における情報提供等 2) 支部における情報提供等 2 会員に対する福利厚生事業 1) 「看護職賠償責任保険制度」加入の推進 2) 表彰　各表彰への推薦 3) 神奈川県看護協会提携店事業　約 160 店舗 4) 会員への対応 弔慰金の支給 5) 会員相互の親睦を深める機会の充実 (1) [休止]「新春のつどい」 (2) 世代別会員交流会 対象　20～30 歳代の会員　定員 30 名 対象　30～50 歳代の会員　定員 70 名 対象　60 歳以上の会員（2024 年 3 月末現在）　定員 80 名 対象　男性会員　定員 40 名 6) お年玉プレゼント　　　当選予定者数 60 名 7) 会員優待 ・レジャー施設　　　・スポーツ観戦　　　・観劇等	37,594 千円
3 会員に対する支援事業等 1) 看護管理者のための学習支援 (1) 認定看護管理者教育課程事業 ・認定看護管理者教育運営会議の開催 ・ファーストレベル研修期間　2025 年 5 月 9 日～8 月 29 日　定員 80 名 ・セカンドレベル　研修期間　2025 年 10 月 3 日～2026 年 2 月 27 日　定員 45 名 (2) 認定看護管理者教育課程修了者フォローアップ事業 ・ファーストレベルフォローアップ研修　2026 年 3 月　2025 年度修了者対象 ・セカンドレベルフォローアップ研修　　2025 年 9 月　2024 年度修了者対象 (3) 看護管理者研修　6 回　延 6.5 日　延定員 436 名	36,246 千円

VII 法人の管理に関する事業（予算額 59,256 千円）

事 業 内 容	予算額
1 職能団体としての組織・運営強化	59,256 千円
1) 諸会議の開催	
(1) 通常総会 2025 年 6 月 20 日(金)	
(2) 理事会 定例 5 回、臨時 1 回	
(3) 事業説明会 年 1 回	
(4) 財政会議	

事業内容	予算額
(5) 新聞への広告掲載 2回/年 2) 日本看護協会との連携 (1) 総会への参加 2025年6月11日(水) 幕張メッセ (2) 全国職能別集会への参加 2025年6月12日(木) 幕張メッセ及び周辺施設 (3) 地区別法人会員会開催 2025年10月9日(木)、10日(金) 茨城県 3) 公益法人に関する業務等 ホームページ、KANAGAWA 看護だより等の活用 4) 事務局機能の整備・充実 (1) 事務局情報・通信システムの運用・管理 (2) 役職員の資質向上のための研修実施及び学会参加 ・研修開催 事務局、訪問看護ステーション 年各1回等 ・学会参加 各課関係学会へ参加 5) 委員会 (1) 推薦委員会の開催 (2) 看護研究倫理審査会の開催 2回/年 2 政策への提言及び県・関係団体・看護学校等との連携促進 1) 国、神奈川県、関係団体への要望 医療制度、看護教育制度、診療報酬、看護職員の働く環境、看護提供体制の改善・充実 2) 神奈川県との連携 災害時や新興感染症発生時等 3) 県内医療関係団体との連携・交流の推進	